

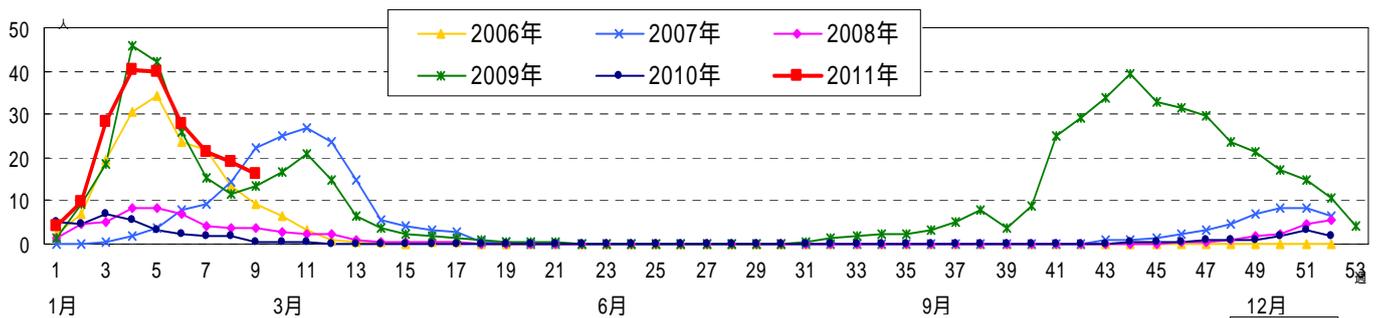
# 横浜市インフルエンザ流行情報 10 号(第 9 週)

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

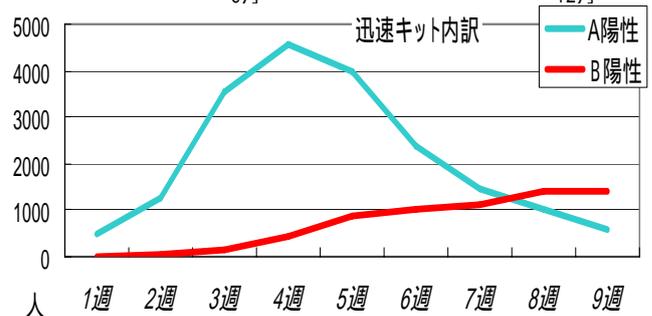
## トピックス

- ・ 第9週(2月28日からの週)は、市内の定点当たり16.15でした。
- ・ 定点医療機関の協力による迅速キットの結果は、A型対B型は、3対7となり、市内ではB型が優勢となっています。
- ・ 施設閉鎖は、第5週に73施設、患者1845人とピークでしたが、第9週では34施設、患者581人でした。
- ・ 今シーズンのインフルエンザ重症サーベイランスでは17件の報告がありました。

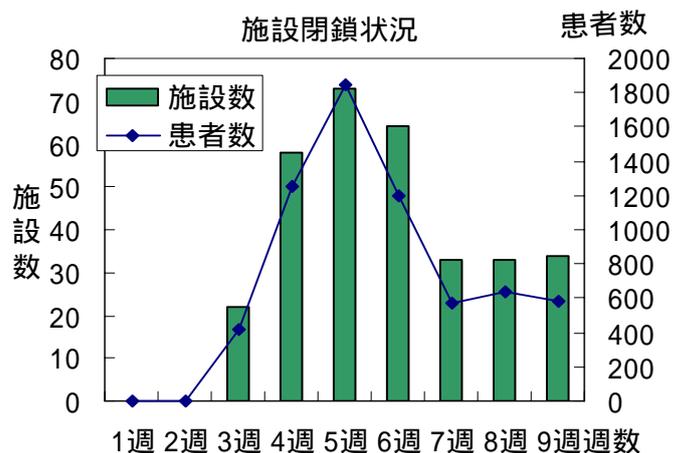
- 1 市内 150 か所(小児科 91 内科 59)の定点医療機関からの報告で、第 50 週(12 月 13 日～19 日)に「流行のめやす」である「定点あたり1」を超えて、第4週に 40.05 とピークとなりましたが、第9週(2月28日～)では定点あたり 16.15 と、先週と比較して僅かな減少でした。



- 2 迅速キット内訳;第9週では、A型が 594 件、B型が 1403 件と、7割がB型です。A型は第4週をピークに報告数が減少していますが、B型は緩やかな上昇を続けています。

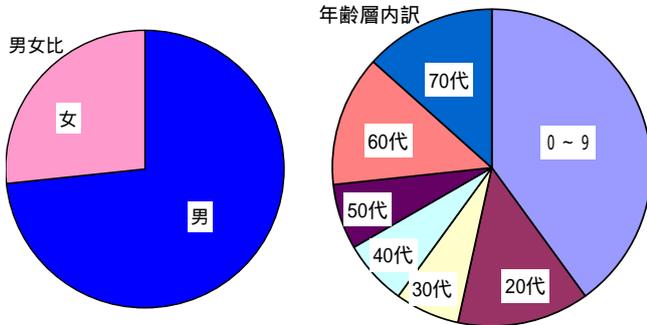


- 3 施設閉鎖状況;第5週(73 施設、患者 1845 人)がピークでした。  
第7～9週の3週間では、ほぼ横ばい状況です。



4 重症サーベイランス:今シーズンは17件の入院報告がありました。基礎疾患の治療のための入院が2件でした。残りの15件では、男性:女性=11:4で男性が多く、年齢層内訳では、10歳未満が最多で、10歳代、80歳以上の入院報告はありませんでした。PCR検査の結果は、A新型が6件ですが、A香港型、

B型も報告されています。



PCR検査(件)		主な入院原因	
A新型	6	脳症等	8
A香港型	4	急性肺炎	4
B型	1	心筋炎	1
検出不明	4	重症化	2

5 急性脳炎:12月から9件の届出があり、男女比2:7と女性が多く、2例以外は10歳未満のこどもでした。

インフルエンザによる急性脳症は、感染症法第五類疾患の急性脳炎として全数の届出の対象です。

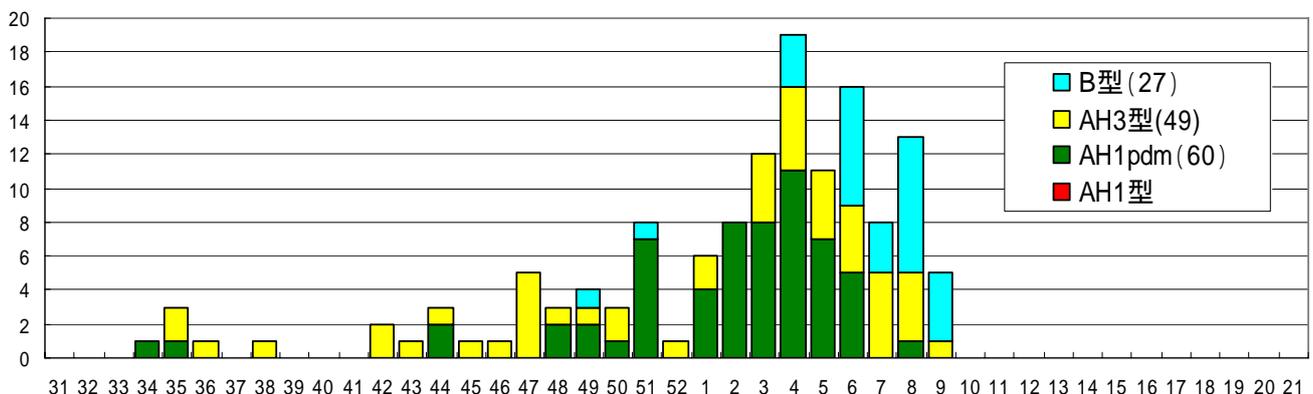
届出基準・届出様式についてはこちらをご利用下さい。

横浜市衛生研究所HP

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/infection/todoke.html>

急性脳炎としての届出			
月	性	年令	届出時
12月	男	67	AH3香港
1月	女	7	インフルエンザ
	女	4	インフルエンザA
	女	7	インフルエンザA
	男	7	インフルエンザA
2月	女	1	病原体不明
	女	27	B型
	女	1	インフルエンザ
3月	女	1	病原体不明

6 病原体定点からの病原体検出状況:過去3週(第7~9週)では、A新型が1件、A香港が10件、B型が15件と、病原体定点からの検出状況もB型が優勢となっています。



【お問い合わせ先】

横浜市健康福祉局健康安全課 045 (671) 2463  
 横浜市衛生研究所 検査研究課ウイルス担当 045 (754) 9804  
 横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課 045 (754) 9815